

備前市事務事業評価シート

(平成23年度事業)

事業の概要		根拠法令・例規等	備前市表彰条例ほか
事業開始年度	昭和46年		
総合計画	大項目 基本目標	06	健全で自立したまちづくり
	中項目 基本施策	01	簡素で効率的な行政運営
	小項目 施策	13	その他事務管理(秘書)
事務事業名	01	表彰事業	
問	担当課(室)	総務課	
合	職・氏名	係長 河井 健 治	
先	電 話	0869-64-1800	
	このシート作成に要した時間	1.0 時間	

事業の目的		Plan
対象(誰・何に対して)	郷土の誇りとしてひとしく敬愛を受ける者、行政委員、文化貢献、公共事務及び公共事務ほう助等、市勢の振興に寄与した者、市民の模範と認められる者等	
目的(何のために)	対象となる者を表彰又は推薦し、その功績、貢献を讃える	
事業の意図する成果(どのような状態にしたいのか)	対象となる者を表彰又は推薦し、その功績、貢献を讃えることにより、市民をはじめ多くの方々が敬愛、賛美、共感の念を得られるようにする	

事業の実績		Do	
目的を達成するため実施した事業	細事業名	事業の説明	優先度
	功労・善行表彰事業	市表彰条例に基づき市の政治・経済・文化・社会等の振興に寄与した者を表彰する事務	
	栄典関係事業	叙位叙勲対象者の把握と上申に関する事務	
	名誉市民表彰事業	市名誉市民条例に基づき社会文化の興隆、市の発展に功績があった者を顕彰する事務	

決算額	事業費等		単位	平成21年度実績	平成22年度実績	平成23年度実績
	事業費	直接事業費	千円	186	94	145
	必要人員費	人員件費	千円	0.08人 744	0.04人 469	0.02人 190
	事業費	費計		930	563	335
	財源	国	支出金			
		受	益者負担			
		繰	入金			
		市	債			
		その他()				
		一般財源		930	563	335
	受益者負担比率	%	-	-	-	

結果指標	結果指標名	単位	平成21年度実績	平成22年度実績	平成23年度実績
	功労・善行表彰者数	説明	条例に基づく対象者を表彰する		
	結果指標量	件	1	2	3
	対前年比	%	-	200.0%	150.0%
	活動コスト	円	147	188	240
	単位当たりコスト		147	94	80

事業の成果		年度	平成21年度	平成22年度	平成23年度	平成24年度目標値
成果指標名	功労・善行表彰があること	目標値(A)	1	1	1	1
		実績値(B)	3	2	3	到達目標値
		達成率(B/A)	300.00%	200.00%	300.00%	
成果指標設定の考え方・式や説明						
対象となる者の功績、貢献を讃え、市民をはじめ多くの方々が敬愛、賛美、共感の念を持っていただくように表彰者があること						

事務事業の評価		該当する項目を から へ く 「コピー」して「貼り付け」してください	Check
妥当性の評価	市の関与の妥当性	市が実施するよう法令で義務づけられている 法令で義務づけられていないが、実施しなければ大半の市民の日常生活に支障をきたす 現在市が実施しているが、実施しなくても市民の日常生活に支障をきたさない 事業の内容が一部の受益者に偏っている 対象者は限定的であるが社会的弱者等を対象としている 現在の市を取り巻く環境からも目的・意図する成果は妥当である 事業開始当初の目的から変化してきている 事業開始当初の目的は、ほぼ達成されている 厳しい財政状況であるが、実施する必要がある	妥当性評価 A B C D E 高や普や低 いや通やい 高 低 い い A
	市民ニーズ	市民・団体等から要望・要請が強い	
効率性の評価	コスト	単位当たりコストは前年度と比較して改善している 実施方法(派遣・委託含)を見直すことでコストを下げる余地がある 事務の電子化や事務改善によりコストを下げる余地がある コスト削減の努力はしているが、下がる余地は小さい 受益者負担率は適正である 受益者負担率を見直す余地がある サービスを維持するためこれ以外、他に手段が見当たらない 現在の手段は過剰なサービスのため、改善の余地がある 最適な手段を求めて職場内で改善・研修に努めている	効率性評価 A B C D E 高や普や低 いや通やい 高 低 い い B
	目的達成度	成果指標の設定は適切である 成果指標の到達目標値は達成できそうである 成果指標達成率は前年度と比較して向上している 成果指標達成率は80%未満となっている 現在の事業を継続しても成果指標の向上は期待できない 法定事務・内部管理事務 であり成果は求めにくい 事業について積極的にHPや広報等で情報提供している 事業にはNPO、ボランティア団体等が参画している	有効性評価 A B C D E 高や普や低 いや通やい 高 低 い い B

進行年度(H24年度)の改革改善内容	
状況	拡充 現状継続 見直し 縮小 整理統合 休止 廃止・完了
説明	叙位叙勲、市表彰を適切に上申、推薦することができるように常に事前準備に努める

総合評価		総合評価	B
永続的に行うことで、その効果が発揮される事業であることから、継続した事業実施が必要である		A B C D E 高や普や低 いや通やい 高 低 い い	

平成25年度の方向性・取組目標		Action
方向性	拡充 現状継続 見直し 縮小 整理統合 休止 廃止・完了	
取組目標	叙位叙勲等は突発的に発生することがあるが、事前準備を行うことで上申期限内に事務を行えるように継続して努める	



事業の目的やその数値目標を評価する際の留意点